

## 研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

食道がん患者の術前薬物療法から周手術期における活動性と栄養に関する研究

～プレハビリテーションにおける看護師の役割の検討～

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2025年1月1日から2026年3月31日に昭和医科大学江東豊洲病院の消化器外科で胸部中部食道がんの術前DCF（薬物療法）から手術を行なった患者さん。

### 2. 研究目的・方法

手術前の薬物療法を行い、その後手術を実施された患者さんの活動性と栄養状態をカルテ情報から評価し、術後の回復を促進させるための術前からの準備（プレハビリテーションという）における看護師の役割について検討することを目的としています。

### 3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年3月31日まで

### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

2025年1月1日から2026年3月31日までの術前薬物療法から術後1ヶ月までの情報収集

患者背景：年齢、性別、身長・体重、原疾患診断日、罹患期間、治療歴：薬物療法の名称、投与回数・期間、手術の術式

プレハビリテーションの状況：術前薬物療法入院中の術前呼吸訓練の回数、歩行回数・距離、NST介入の有無、リハビリの有無（外来カルテからも可能な範囲で同様の項目）

術後の身体活動状況：術前呼吸訓練回数、歩行回数・距離、NST介入の有無、リハビリの有無

栄養状態：客観的な評価スケール（MNA-SF、CONUT）、食事内容・量・間食、食事摂取に対するコメント（術前）

・血液生化学検査：アルブミン・総コレステロール・総リンパ球（CONUTスコア）総タンパク、ヘモグロビン、白血球、CRP値

**5. 外部への試料・情報の提供**

該当いたしません。

**6. 研究組織**

研究責任者 研究機関名：昭和医科大学保健医療学部看護学科 教授 氏名：渡邊 知映  
研究分担者 研究機関名：昭和医科大学大学院保健医療学研究科博士前期課程  
専門看護師分野 がん看護学領域 氏名：前田 英明

**7. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学大学院保健医療学研究科博士前期課程 専門看護師分野 がん看護学領域  
氏名：前田 英明 メール：eng125h604@s.showa-u.ac.jp  
住所：神奈川県横浜市緑区十日市場町 1865 電話番号：045-985-6532（渡邊直通）